

2016 アジア選手権報告書

参加団体名：東京都立小松川高等学校

氏名：中川大誠

種目：軽量級男子ダブルスカル

1. レースの展開、結果、反省点
2. 国際大会を経験して良かったこと、困ったこと、今後のボート人生にどのように影響するか。

1. 大会戦績 4位

(予選3位で敗者復活戦に。敗者復活戦2位で決勝に進む)

予選では初めての国際大会という事もあり、自分の理想とするスタイルからかけ離れたローイングとレース展開をしてしまったため、思うような結果が残せなかったが、敗者復活戦では、予選の失敗を活かし、修正しながら、まずまずのレース展開が実践でき決勝に進むことができた。

(決勝4位)

決勝では、前日のミーティングで課題やレース展開をしっかりと確認することができたので、思い切ったレース展開ができた。スタート直後から1000m手前まで、他のクルーを引き離し、1位でレースを引っ張ることができたが、1000m辺りで中国、香港、韓国に抜かれ、そのまま差を縮めることができず、4位でゴールした。中盤までTOPでいけたことは非常に良かったが、そこから一気に抜かれてしまったこと、何とか状況を巻き返せなかったことに、自分達の未熟さを多く感じた。スタートから飛び出し、中盤の伸びをうまく使い切れなかった所と、レースの展開を先手で仕掛けられなかった事が今回のレースの敗因であり反省点である。

2. 今回のアジア選手権に参加することができて非常に多くの経験を得ることができた。日本国内でのレースとは違う雰囲気やレースをすることや今までに経験したことのない艇速でレースを進める事ができたので、参加できて本当に良かった。国際レベルの選手達と競い合えた事は、今後の自分のボート人生に大いに生きてくると感じた。

初めての海外遠征だったので、コースやホテルでは自分の英語が通じず、困る場面も何回かありましたが、英語の必要性も直接、肌で感じる事ができた。

アジア選手権を通して、かなり多くの体験をすることができた。今後、国際大会に参加する際に今回の経験を元に、よりレースに集中する事ができるのではないかと思った。また、今回の結果を踏まえて、現状に満足せず、より強く進歩しなければならないことを身をもって感じたので、この先のトレーニングのモチベーションにし、もっと活躍できる選手にならなければいけないと思った。今後も、トレーニングのやり方や考え方を改善して、成長していきたい。

最後に、今回のアジア選手権を終えて感じているのは、たくさんのSTAFFの方々や先生にお世話

になったことである。事前の手続きを始め、費用面の補助など、いろんな場面で支えられていることを実感した。将来は、教師になってボートの指導者として子供達を支えていきたいと考えているので、感謝の気持ちを忘れないようにしていきたいと考えている。

本当にありがとうございました。